【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第３区分
【発行日】令和3年9月30日(2021.9.30)

【公開番号】特開2020-193781(P2020-193781A)
【公開日】令和2年12月3日(2020.12.3)
【年通号数】公開・登録公報2020-049
【出願番号】特願2019-100338(P2019-100338)
【国際特許分類】
Ｆ２８Ｆ　9/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ２８Ｆ　9/02　３０１Ｅ
Ｆ２８Ｆ　9/02　３０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】令和3年8月19日(2021.8.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
熱交換器であって、
積層された複数のチューブ（２１）の両端側に設けられ、前記複数のチューブが積層された方向に沿って長手方向を有する一対のタンク（３０，３０Ａ，３１）と、
前記一対のタンクの少なくともいずれか一方のタンクである接続タンク（３０，３０Ａ）の側面に設けられ、配管を前記接続タンクに繋ぐためのコネクタ（４０，４０Ａ，４１）と、を備え、
前記接続タンクは、側面の少なくとも一部に平坦部（３６）を有する筒形状をなし、
前記コネクタは、
前記平坦部に対向する対向面（４２，４２Ａ）の少なくとも一部が、前記平坦部から前記接続タンクの短手方向にせり出すように前記平坦部に接合されるとともに、
前記対向面に垂直な軸線を中心に筒形状に形成され、
前記対向面とは反対側の端面に開口を有する、熱交換器。
【請求項２】
請求項１に記載の熱交換器であって、
前記コネクタは、前記対向面の少なくとも一部が、前記平坦部から前記接続タンクの短手方向の両側にせり出すように前記平坦部に接合された、熱交換器。
【請求項３】
請求項１又は２に記載の熱交換器であって、
前記接続タンクは、前記複数のチューブが接合される内側プレート（３３）と、前記平坦部が形成される外側プレート（３２，３２Ａ）と、を含んで構成される、熱交換器。
【請求項４】
請求項１から３のいずれか一項に記載の熱交換器であって、
冷媒を冷却凝縮させるコンデンサである、熱交換器。

【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本開示に係る熱交換器は、積層された複数のチューブ（２１）の両端側に設けられ、複数のチューブが積層された方向に沿って長手方向を有する一対のタンク（３０，３０Ａ，３１）と、一対のタンクの少なくともいずれか一方のタンクである接続タンク（３０，３０Ａ）の側面に設けられ、配管を接続タンクに繋ぐためのコネクタ（４０，４０Ａ，４１）と、を備え、接続タンクは、側面の少なくとも一部に平坦部（３６）を有する筒形状をなし、コネクタは、平坦部に対向する対向面（４２，４２Ａ）の少なくとも一部が、平坦部から接続タンクの短手方向にせり出すように平坦部に接合されるとともに、対向面に垂直な軸線を中心に筒形状に形成され、対向面とは反対側の端面に開口を有する。